

蒲田リハビリテーション病院



KAMATA REHABILITATION HOSPITAL

手には技術 頭には知識 患者さまには愛を



患者様の権利と責務

1. 平等な治療を受ける権利があります。

患者様は、その社会的経済的地位、国籍、人種、宗教、年齢、病気の種類によって差別されず、平等な治療を受ける権利を持っています。

2. 治療を自己決定できる権利があります。

患者様は、医師による明確で分かり易い言葉で十分な説明を受けた後で、治療を受ける権利、あるいは治療を受けることを拒む権利があります。

3. 情報を知る権利と情報を提供する責務があります。

患者様は、医師による診断・治療、または変わり得る治療方法・予後、今後予測される問題に関して知る権利を持っています。

患者様は、自身の病状や健康に関する正確な情報を提供し、治療に積極的に参加する責務があります。

4. セカンドオピニオンを受ける権利とプライバシーが守られる権利があります。

患者様は、自分の医療内容に対して、医師と共同して選択する権利、他の医師からの意見・相談を得る

権利、いかなる場合であっても人格的に扱われ、患者様自身の診療に関する全てのプライバシーに関して、万全の配慮を受ける権利を持っています。

5. 相談する権利があります。

患者様は、十分な情報を得て、利用可能な財政的支援について相談する権利を持っています。

6. 良質な医療を速やかに受ける権利があります。

患者様は、効果的医療行為を速やかに行なわれることを要求する権利、継続的に支持、検討された質の高い医療を受ける権利を持っています。

7. 病院秩序を守る責務があります。

患者様は、全ての患者様が安全で良質な医療を受けられるように配慮して頂くとともに、職員が適切な医療を行うことを妨げないよう協力する責務があります。また、医療費を適正に支払う責務があります。

蒲田リハビリテーション病院

基本方針

1. 安心・安全な医療

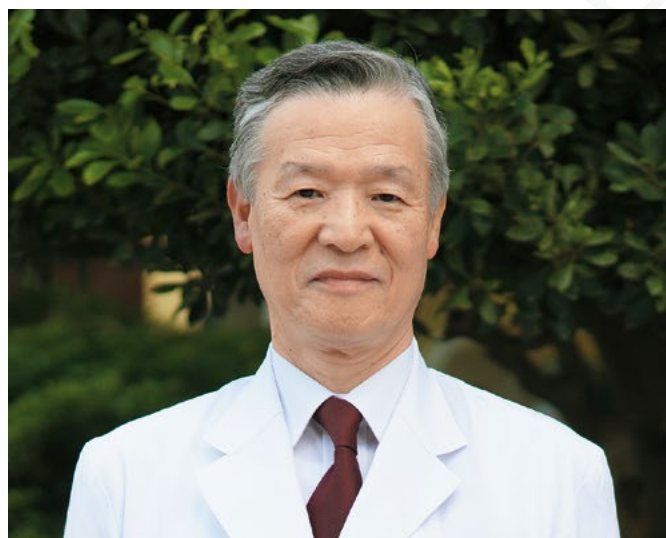
学問的に高い水準の安心・安全な医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。

2. チーム医療

患者さま・ご家族と医療情報を共有し、回復期リハビリテーション病院として入院から在宅復帰まで一貫した、患者さまのニーズに沿った安心できるチーム医療を提供いたします。

3. 地域医療

地域の医療・福祉施設と密接な連携をとり、寝たきり「ゼロ」、在宅復帰を目標に誰でも安心して利用できる回復期リハビリテーション病院を目指します。



院長 前原 正明

Tadaaki Maehara

当院は回復期リハビリテーション病院として、2011年(平成23年)5月に開院して以来、お陰様で多くの患者さま、ご家族の方々にご満足いただき、90%以上の患者さまが在宅復帰されています。

当グループの基本理念「手には技術、頭には知識、患者さまには愛を」のもとに、神経内科・整形外科・総合内科・心臓血管外科・リハビリテーション科・精神科・皮膚科の医師が勤務し、様々な段階の、種々の合併症を持った患者さまに対して、ふさわしい、適切な総合的リハビリテーション医療を実施しています。

この度、私たち蒲田リハビリテーション病院は2024年2月9日に公益財団法人 日本医療機能評価機構より「機能種別版評価項目3rdG:Ver3.0」の認定を取得しました。

医師・看護師・セラピスト(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)・ケアワーカー・薬剤師・管理栄養士・医療ソーシャルワーカー・事務職等の職員一同が各職種の専門性を発揮し、患者さま中心の良質なチーム医療を365日休みなく提供しています。

これからも、皆さまのご支援、ご指導を賜り、これまでの当院の経験・歴史を生かして、地域の医療・療養・介護機関、開業医の方々との連携を密にとらせていただき、皆さまに更に必要とされ、お役に立てる病院となるよう努力してまいります。



蒲田リハビリター

365日のリハビリテーション実施体制

早期回復には、発症してからできるだけ早く、集中的なリハビリテーションを継続して行うことが効果的とされています。看護スタッフ・リハビリスタッフが、土・日・祝日はもちろん、お盆や年末年始も無休で365日リハビリテーションをバックアップします。



1日最大3時間(9単位)のリハビリテーションを実施

各リハビリスタッフがチームになって、患者さま一人に対し最大1日3時間のリハビリテーションを毎日実施しています。

※2024年度診療報酬改定により整形外科疾患の場合は、リハビリテーション実施上限が設けられました。



スタッフ数328名 (2026年5月1日現在)

- 医師 9名
- 看護師 93名
- 看護補助者 35名 (介護福祉士 22名)
- 理学療法士 109名 作業療法士 43名 言語聴覚士 24名
- 医療ソーシャルワーカー 7名 薬剤師 3名 管理栄養士 4名 歯科衛生士 1名

【専門資格保持者】

〔医師〕

日本リハビリテーション医学会臨床認定医 2名

〔看護師〕

認知症看護認定看護師 1名 感染症管理認定看護師 1名

回復期リハビリテーション看護師 2名

〔リハビリセラピスト〕

認定理学療法士 (脳卒中) 4名

認定理学療法士 (運動器) 2名

認定理学療法士 (補装具) 2名

認定理学療法士 (介護予防) 1名

認定作業療法士 1名

生活行為向上マネジメント指導士 1名

訪問型ジョブコーチ 5名

心臓リハビリテーション指導士 1名

心不全療法士 4名

呼吸療法認定士 2名

回復期リハビリテーションマネージャー 4名

ション病院の特徴

退院後に充実した生活リハビリ

当院に入院されていた方を対象に、必要に応じて外来リハビリテーションや訪問リハビリテーションを実施しています。

外来リハビリテーション

当院に通院して、身体機能の改善を中心とした訓練を行います。

訪問リハビリテーション

スタッフが直接ご自宅に訪問し、自宅内で必要な動作の訓練等を行います。



彩りのある入院生活

病院にいと忘れがちな季節感をイベントや食事で感じることが出来ます。



健康教室



季節のイベント
(クリスマスコンサート)



訪問理美容



イベント食

一人ひとりに最適なプログラム

当院では入院中、患者さま一人ひとりに合わせた計画を立て、専任のスタッフによるリハビリテーションを実施。日中の安全なリハビリテーション活動と良質な睡眠に向け、規則正しい生活を送って頂けるよう、個々に合わせたプログラムを作成しています。

例：ある患者さまの一日の流れ

の中で、患者さまの目標や状態に合わせて個々に1日最大3時間のリハビリテーション訓練が組まれます。

午前のリハビリ開始



在宅復帰へ向けたサポート



月に一度の面談

入院時の面談以外に、月に一度、患者さまとご家族、スタッフ（医師、看護師、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカー等）が集まって面談を行っています。治療計画や状態をしっかりとご説明し、進み具合や方向性、目標の確認をし、在宅復帰に向けての話し合いを行います。





装具を使った歩行訓練

患者さまに合わせた装具を選び、理学療法士がつき安全に訓練を行います。



更衣動作訓練

訓練でできるようになった動作を、日常でできるように、病棟で見守ります。



食事動作の訓練

患者さまの状態に合わせて、実際のお食事の訓練も言語聴覚士が付き安全に行います。



調理訓練

調理訓練で、献立を考えてから材料を買いに行くこともあります。

午後のリハビリ開始

13:00

個別リハビリテーション

- ◆立位、歩行訓練
- ◆炊事・洗濯・掃除等の応用動作訓練
- ◆装具等を用いた動作訓練など

14:00

レクリエーション

◆離床活動の一環として個別リハビリテーションの間に病棟デイルームにて実施

15:30

面談

◆月に一度、患者さま・ご家族さま、医師・看護師・リハビリスタッフ・医療ソーシャルワーカーで、現状確認と今後についての話し合い

16:00

入浴

◆患者さまの状態に合わせて、機械浴または大浴場にて入浴
週3回行っています

16:40

体操

18:00

夕食

◆自助具・福祉用具を用いた個別介入

18:30

整容動作・更衣動作・排泄動作

◆日常生活動作自立に向け、整容・更衣・排泄動作の訓練

19:00

ナイトレクリエーション

◆週3回行っています

22:00

消灯

家屋調査

退院が近づいたらスタッフが一緒にご自宅に伺い、アドバイスをさせていただきます。退院前にご自宅を調査しておくことで、改修工事や補助具の取り付け、各種保険の申請など、退院後にスムーズな生活が送れるように評価と助言をします。またご自宅の段差に合わせた訓練など、日々の訓練にも活かしていきます。



カンファレンス

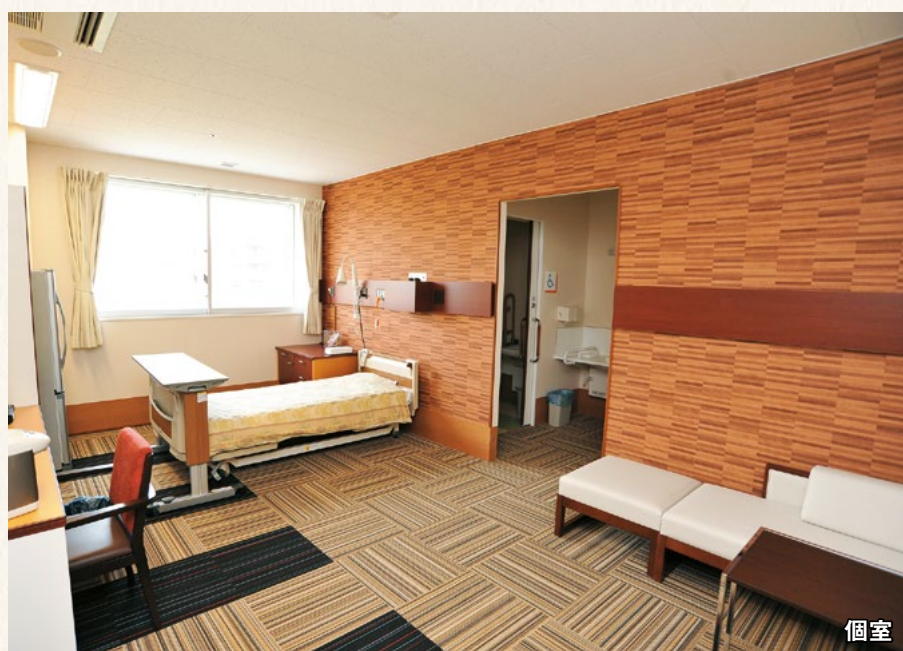
1日も早く快適な日常生活を送れるよう、医師、看護師をはじめ、各分野の専門家がチーム体制を組み患者さまを全員で支えます。スタッフ間でのカンファレンスを密に行い、日々の細やかな変化にもいち早く気づき、情報共有することで、早期回復に努めています。



施設紹介

居心地の良い空間

病院全体で「くつろぎ」を大切にしたリラックスできる空間を目指しています。
ご家族と語らいや憩いの場としてゆったりとお過ごしいただけるよう、
広々としたラウンジを設置しております。





歩行の獲得に向けて支援ができるロボット「ウェルウォーク」



手指の麻痺に対して訓練ができるロボット「メルツ」

『ロボットやAIを使ったリハビリテーション機器』

脳卒中や頸椎損傷などで手足を動かすことが難しくなった患者さまに、ロボットやAIを使ったリハビリテーションを提供することが可能です。歩くことが難しくなった患者さまには歩行支援、手指を動かすのが難しくなった患者さまには手指のリハビリテーション支援を行います。

リハビリ設備紹介

充実したリハビリ設備

明るく広々とした開放的な空間に、

最新式のマシンを各種取りそろえておりますので、

効果的なリハビリテーションを行うことができます。

また、退院後を想定した訓練が可能な和室やトイレの設備もございます。



ドライビングシミュレーター



屋上テラス



リハビリ室

3つの POINT

POINT

1

専門スタッフ328名体制と 高い在宅復帰率

当院には、医師、看護師、療法士など、総勢 328 名(2026 年 5 月 1 日現在)の専門スタッフが在籍しています。この手厚い体制と多職種連携による集中的なリハビリテーションにより、** 在宅復帰率は 96.4%** を達成しています。

- ・ 質の高い個別リハビリ：専門職によるきめ細やかなサポートを提供します。
- ・ 多職種連携：生活すべてを総合的にサポートする体制を整えています。
- ・ 高い実績：自宅での安心した生活を可能にする高い復帰率を誇ります。

POINT

2

食べる喜びを支える 「摂食嚥下リハビリテーション」

「口から食べる」ことの維持・回復を目指し、専門的な評価に基づいた嚥下訓練に注力しています。多職種が連携し、経管栄養からの離脱や安全な経口摂取を強力にバックアップします。

- ・ 充実の専門体制：言語聴覚士(ST) 24 名が在籍し、手厚いリハビリを提供します(2026 年 5 月 1 日現在)。
- ・ 確かな評価体制：医師による VE(嚥下内視鏡検査)を院内で実施しています(2025 年度実績：43 件)。
- ・ 豊富な実務実績：ST が評価・訓練を行った摂食嚥下障害患者数は年間 191 名にのびります(2025 年度)。
- ・ 経管栄養からの離脱：適切な訓練により、対象者の約 57% が介助摂取へ移行、約 45.5% が自立摂食を実現しています(2025 年度実績：対象者 28 名中)。

POINT

3

社会復帰と「働き続ける」 を支える継続支援体制

「また働きたい」「社会とつながりたい」という想いを実現するため、医療と福祉が連携したきめ細やかなサポートを提供します。入院中から退院後の就労継続まで、あなたに合った未来を一緒に考えます。

- ・ 就労継続のための外来リハビリ：退院後も仕事とリハビリを両立し、安定して働き続けられるよう、外来での専門的なフォローアップ体制を整えています。
- ・ 訪問型ジョブコーチ在籍：5 名の訪問型ジョブコーチが在籍し、職場定着に向けた実践的な支援を行います(2026 年 5 月 1 日現在)。
- ・ 専門的な相談支援：専任の医療ソーシャルワーカーが、就労や生活上の課題に親身に対応します。
- ・ 個別リハビリ：復職を目指す方や高次脳機能障害の方へ、職場復帰を見据えた専門的な支援を行います。仕事で車を利用する方にはドライビングシミュレーターを使った運転支援のリハビリも実施します。
- ・ 地域連携：就労移行支援や訪問看護など、地域資源との連携を強化しています。

訪問リハビリテーション

あなたの『やりたい』をお手伝いします

当院の訪問リハビリテーションは、地域密着型です。利用者様のお体に合ったリハビリテーション治療を提供いたします。生活環境に合わせた動作訓練や家事動作訓練から、公共機関を利用した外出訓練まで対応します。また、自主トレーニングが出来るように自主トレーニングメニューの提案や住環境に合わせた福祉用具の提案もできます。当院にご入院したあと、または治療後の健康的な毎日を送るため、お客様と一緒に歩んでいこうと思います。

訪問エリア



**大田区全域
品川区の一部
(大井、南大井、八潮)**
※その他のエリアもご相談下さい。

	月	火	水	木	金	土	日
午前	●	●	●	●	●	●	
午後	●	●	●	●	●	●	

診察時間 午前 9:00～12:00 午後 13:00～16:40
訪問をご希望の方はお問い合わせください

定休日 日曜日 ※祝日は通常営業

特徴

- ・大田区で数少ない言語聴覚士（ST）による嚥下訓練や言語訓練を訪問リハでも対応
- ・日曜日以外の祝日も訪問リハビリ実施
- ・週3～4回の集中的な介入も可能 ※利用回数は適応条件によって変動します。
- ・住環境、福祉用具の提案も可能
- ・リハビリ会議の定期開催も実施可能



理学療法士

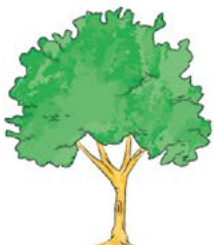
作業療法士

言語聴覚士

週3～4日

外出訓練

住環境提案



〒143-0015 東京都大田区大森西4-14-5
蒲田リハビリテーション病院
訪問リハビリテーション
事業所番号 : 1315670047

☎ 03-5767-7100

🖨 03-5767-7107

患者さまの声～退院時アンケートより～



※退院時アンケートとは…当院にご入院された患者様に退院時に記入を依頼している、院内独自のアンケートです。

入院患者 満足度 88.9点！(2025年度)

1. 医師への評価

- ・先生方にはとても親身になって診て頂きました。
- ・優しいドクターでした。



2. 看護師への評価

- ・いつも笑顔で丁寧に対応して頂き安心できました。
- ・笑みを絶やさず、患者さん第一を考えて下さってありがたかったです。



3. ケアワーカーへの評価

- ・いつも不安が和らぐよう気遣ってくれたり、声をかけてくれました。
- ・親身になって対応してくれました。



4. リハビリスタッフの評価

- ・大変熱心に接して頂き、感謝しております。
- ・親身にとっても良くしてくださいました。良く回復したと思います。



5. 入院生活の評価

- ・こちらでお世話になり本当によかったです。また機会がありましたら、こちらを希望します。
- ・トイレ、洗面所がいつも清潔で気持ち良かったです。ラウンジもいつもアルコールで拭いていて衛生的でした。

患者さま、ご家族の皆さまにご満足いただけるよう努めています

回復期リハビリテーション病棟とは

当院は回復期リハビリテーション病院です。脳血管障害や骨折の手術などのため急性期で治療を受けて、病状が安定し始めた発症から1～2ヶ月以降の状態を回復期といいます。この回復期といわれる時期に集中的なリハビリテーションを行うことで低下した能力を再び獲得するための病棟を回復期リハビリテーション病棟といいます。当院では回復期対象の患者さまに対して、機能の回復や日常生活に必要な動作の改善を図り、寝たきり防止と社会や家庭への復帰を目的とした、各患者さまごとのリハビリテーションプログラムに基づき、医師、看護師、ケアワーカー、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカー、薬剤師、管理栄養士等が共同で集中的なリハビリテーションを提供いたします。

回復期リハビリテーション病棟の対象患者

対象疾患		入院期間
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷の発症後もしくは手術後、又は義肢装着訓練を要する状態	150日
	高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷および頭部外傷を含む多部位外傷	180日
2	多肢の骨折、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折	90日
3	外科手術又は肺炎などの治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後	90日
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後	60日
5	股関節又は膝関節の置換術後の状態	90日

■入院までの手順

STEP 01 急性期病院からのご紹介

入院中の病院の担当医師から回復期リハビリテーション病院への転院を提案されます。
また当院へ転院をご希望の場合は担当医師にご相談下さい。



入院している病院の担当者様から当院へご紹介があります。



STEP 02 判定会から入院前の院内見学・面談

当院で受け入れができるかを、医師が判定会で検討します。



結果は病院の担当者様にご連絡します。※結果は担当者様にご確認下さい。



ご家族様から当院の医療連携室にお電話をお願いします。



《入院前の電話面談》※お時間を 10 ～ 15 分頂きます。

医療連携室（平日）9:00～16:30

TEL 03-5767-7103



STEP 03 入院日の決定のお知らせ

入院日の調整を行い、病院の担当者様にご連絡します。

日程は担当者様からご家族様にご連絡します。

※入院は原則午前中となっています。※転院時の移動手段(介護タクシー等)は担当者様とご相談下さい。



STEP 04 入院

持参する必要物品（詳細は当院ホームページからもご確認いただけます）

- ①健康保険証【またはマイナンバーカード】 ②介護保険証（お持ちの方のみ）
- ③紹介状 ④お薬手帳 ⑤退院時に渡されたお薬と書類 ⑥印鑑（シャチハタ以外） ⑦日用品
 - ・下着、靴下 ・上履き（運動靴等） ・ボックスティッシュ ・マスク
 - ・洗面用具（歯ブラシ、歯磨き粉、プラスチック製コップ） ・巾着袋
 - ・A4サイズ紙袋（洗濯物入れ） ・（義歯使用中の方）義歯容器、洗浄用ポリデント
 - ・ヘアーブラシ ・眼鏡 ・補聴器、替え電池 ・（男性）電気シェーバー、充電器
 - ・コインランドリーご利用の方は洗剤

入院実績 DATA

2025年度 (2025年4月1日～2026年3月31日)

新規入院患者数

952名

平均年齢

76.1歳

在宅
復帰率

96.4%



患者満足度

当院に点数をつけるなら？
(100点満点)

88.9点



※総合的に当院を100点満点で評価すると何点になるかを評価

1日のリハビリ時間

平均

たっぷり充実したりハビリ!

約2時間40分/日
(平均8.3単位)



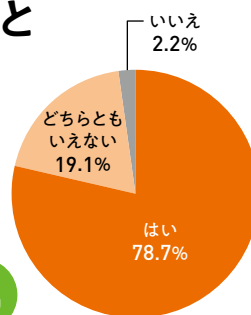
※全国平均2時間(2024年3月調べ)

当院を紹介したいと
思いますか?

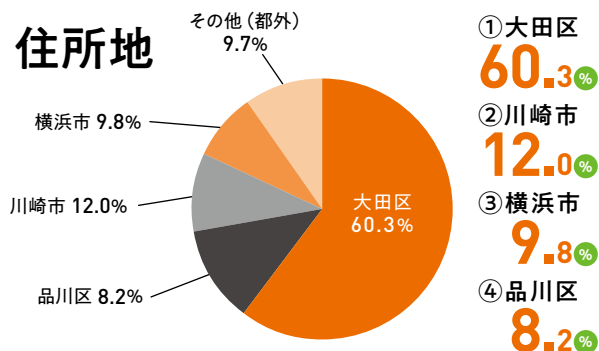
(退院時アンケートより)

はい

78.7%



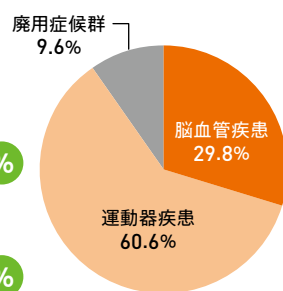
住所地



新規入院患者
疾患別内訳

脳血管
疾患 29.8%

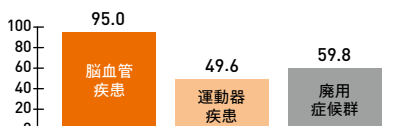
運動器
疾患 60.6%



疾患別
平均在院
日数

平均

64.4日



実績指数(アウトカム)

リハビリテーションの実績を評価する指標

リハビリテーションの質の評価

(基準: 40以上)

平均 49.2

カマチグループ 関連病院一覧

社会医療法人財団 池友会



一般社団法人 巨樹の会



社会医療法人社団 東京巨樹の会



社会医療法人社団 埼玉巨樹の会



医療法人社団 銀緑会



総計

- ◇病床数（全28施設）：5,511床
- ◇セラピスト数：3,455名
- ◇看護師数：4,253名
- ◇延床面積：320,982㎡（97,069坪）



蒲田リハビリテーション病院

URL: www.kamata-rh.net

〒143-0015 東京都大田区大森西4-14-5 TEL 03-5767-7100 FAX 03-5767-7107



- 理事長 松谷 雅生
- 院長 前原 正明
- 開院 平成23年5月
- 診療科目 リハビリテーション科
- 病床数 180床
- 面会時間 午前10時～午後8時

院内および敷地内 禁煙

■ 交通のご案内

- JR線・東急線「蒲田駅」東口下車
 - ▶ 路線バス2番のりば大森駅行き（バス約7分）
大森駅行き【東邦大学】バス停下車徒歩約5分
- JR線「大森駅」東口下車
 - ▶ 路線バス1番のりば蒲田駅行き（バス約20分）
蒲田駅行き【東邦大学】バス停下車徒歩約5分
- 京浜急行線「大森町駅」西口下車徒歩約13分
- 京浜急行線「梅屋敷駅」下車徒歩約15分
- 羽田空港国際ターミナルよりお越しの方
京急空港線「羽田空港国際線ターミナル駅」から「京急蒲田」へ
「京急蒲田」から乗り換えて「梅屋敷駅」で下車し徒歩15分
- お車でお越しの方
指定駐車場「タイムズ大森西4丁目」
（当院すぐ横）…1時間まで無料

⚠ 公共交通機関等利用のお願い

当院は来院の皆様全員に提供できる駐車スペースを十分に持ち合わせておりません。誠に申し訳ございませんが、公共交通機関・タクシー等のご利用をお願いいたします。また、お車でのお越しの方は指定駐車場をご利用いただき、路上駐車などなされないようお願いいたします。何卒、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。